

No.1 防災士連絡会議

地域での防災活動を牽引

市内で活動する防災士間の情報共有と知識・技能の向上を目的として、(仮称) 甲賀市防災士連絡会議が発足し、3月17日に碧水ホールで初会合が行われました。防災士とは、防災の知識や技能を習得する民間資格で、家庭・職場・地域など社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待されています。

この日は、「地域防災力向上のための防災士の役割について」の講演の後、地域別に分かれてグループ討議が行われ、参加者は地域の課題や今後の取り組みについて熱心に話し合いました。



▲地域の課題を話し合う参加者

No.2

ちびっ子自然道場 野外活動で子育て交流

野外活動体験をとおして子育て世代の交流を図る「ちびっ子自然道場」が、3月19日、水口町山の鹿深の杜で行われました。

この事業は、市の「子ども・子育て応援団ネットワーク形成事業補助金」を活用して、市内で活動する子育て支援サークルが主催し、約60人の親子が集まりました。

子どもたちは、慣れない手つきで料理や工作に挑戦したり、裏山に設置された手作り遊具で遊んだりして、大喜び。

野外調理や里山探検など、参加者は普段体験できない活動を多くの仲間と楽しみながら、交流を深めました。



▲里山の遊具を楽しむ子どもたち

No.3

斎王群行

現代にみえる時代絵巻

天皇の即位ごとに都から伊勢神宮に送られた斎王の行列の様子を再現した「あいの土山斎王群行」が3月20日、土山町で行われました。

当日は、十二単を身にまとった斎王役の吉田笑佳さんをはじめ、およそ80人の一行が、大野小学校から「垂水斎王頓宮跡」までの約3キロの道のりを練り歩きました。

途中の休憩所では道中舞も披露され、市内外から集まった大勢の見物客は華麗な群行に見入っていました。



▲厳かに行われた禊ぎ式

No.4

鉄道事故対応訓練

いざという時に備えて

信楽高原鐵道の鉄道事故対応訓練が3月22日、信楽駅で行われました。

この訓練は、鉄道事故発生時における関係機関の連携強化を目的に、信楽高原鐵道と市、甲賀広域行政組合信楽消防署が毎年実施しています。今回は初めて甲賀警察署も参加し、迅速な初動や救助の協力体制を確認しました。

訓練では、走行中の車内で焼身自殺があり火災が発生したという想定で、各機関が連携して消火活動や負傷者の搬送などにあたりました。



▲負傷者を搬送する消防署員と警察署員

No.5

土山中学校 ボランティア 入門講座「心ばかりかデイ」

体験を通じて関心を高める

福祉やボランティアに関する理解を深めるために、ボランティア入門講座が3月23日、土山中学校で行われました。市ボランティア連絡協議会甲南支部の方からボランティア活動についての講話を聞いた後、車いす体験や高齢者疑似体験など、7つの講座に分かれてボランティア体験を行いました。障がい者や高齢者の気持ちとボランティアの基礎を学びました。

アイマスク体験をした生徒は「どういった手助けが必要としているのか分かった。これから困っている人を見かけたら声をかけたい」と体験を振り返りました。

No.6

安心・安全 自転車通学体験事業 新一年生が通学路を確認

自転車事故を防ごうと、城山中学校の新一年生を対象にした自転車通学体験が3月26日に行われ、6人が参加しました。

この体験は、市が取得した世界基準の認証制度「セーフコミュニティ」の取り組みの一環で、岩上自治振興会などがモデル事業として実施しました。

子どもたちは実際に通学路を走行しながら、安全指導のボランティアと危険箇所や交差点を渡るときの注意点などを確認し、安全な通学に備えました。



▲危険箇所を確認しながら交差点を渡る児童ら